

# Library News

県立福山高等学校  
図書館便り 12月号  
令和2年12月22日



11月28日、鹿児島県高校生ビブリオバトル大会が行われました。今年度はバトラー（発表者）20名、5ブロックに分かれて予選が行われ、大島高校3名と指宿高校2名が決勝にあがり、激闘の末、大島高校の畑くんが紹介した本『正義の教室 善く生きるための哲学入門』（飲茶著）がチャンプ本となりました。

福高図書館便り9月号でビブリオバトルの醍醐味は、〈本を通して人を知ることができる〉〈人を通して本を知ることができる〉ことだと書きました。短い時間の中で、バトラーが一生懸命紹介してくれた本20冊の面白さ、そしてバトラーの人柄や考え、熱い思いを知ることができました。とても有意義で楽しい時間でしたよ。ビブリオバトルで紹介された20冊は、3学期の間、特別コーナーに置く予定です。現在福高図書館にない本は2月までにできるだけ購入してそろえていきます。同年代が『面白い！是非読んでほしい！』と思って紹介した本なので、お気に入りの1冊が見つかるかも！是非手に取ってみてくださいね。ちなみに、決勝にあがった5名中2名の生徒は、普段読書をあまりしないけど、紹介した本にはとても魅力を感じた、と言っていましたよ。特別コーナーをお楽しみに！



## 【正義の教室 善く生きるための哲学入門】

ソクラテス、プラトン、ベンサム、キルケゴール、ニーチェ、ロールズ、フーコー…。人類誕生から続く「正義」を巡る論争の決着とは？私立高校の生徒会を舞台に、異なる「正義」を持つ3人の女子高生の掛け合いから、「正義」の正体があぶり出される。ストーリーだからわかる！つい人に言いたくなる「哲学者の思想」。

## 【令和2年度 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会 発表者紹介本】

☆＝決勝にあがった本 ★福高にある本

★ かがみの孤城 辻村 深月	青いスタートライン 高田 由紀子
☆ 境界を生きる～性と生のはざままで～ 毎日新聞社「境界を生きる」取材班	☆☆ この気持ちもいつか忘れる 住野 よる
★ 神様のいる書店 三萩 せんや	☆ ひきこもりの弟だった 葦舟 ナツ
★ ライオンのおやつ 小川 糸	★ 十角館の殺人 綾辻 行人
★ 美少年探偵団 西尾 維新	★ アーモンド ソン・ウォンピョン
暗幕のゲルニカ 原田 マハ	☆ 正義の教室 善く生きるための哲学入門 飲茶
女のいない男たち 村上 春樹	★ メモの魔力 前田 裕二
天才はあきらめた 山里 亮太	家庭教室 伊藤 歌詞太郎
★ 人魚の眠る家 東野 圭吾	☆ 女王はかえらない 降田 天
虚白ノ夢 諸口 正巳	★ フリーター、家を買う。 有川 浩



### 【お知らせ】冬休みの特別貸出について

- 《 期 間 》 12月16日(水)～1月5日(火)
- 《 冊 数 》 無制限(持って帰ることができる程度で)
- 《 返却日 》 1月13日(水)までに返却(厳守)

※ 冬休み中の図書館開館スケジュールは  
図書館入り口に掲示します。

### オススメの本

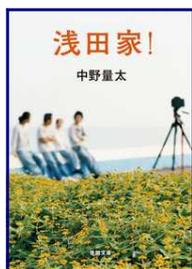
冬休みに読んでみてはいかがでしょうか？



#### 【 461個のおべんとう 】 丸山 智 // 著

妻と別れ、シングルファーザーとなったミュージシャンの一樹。一浪の末、高校生となった息子・虹樹。虹樹の高校生活が始まるにあたって、二人は男と男の約束を代わした。「3年間毎日おべんとうを作ること」「3年間休まず高校に通って卒業すること」。こうして、一樹の怒涛のおべんとう作りが始まった。地方でライブがある日も、朝帰りの朝も作られるお弁当を介して、父と息子の思いが交錯する。

井ノ原快彦、道枝駿佑(なにわ男子)共演、映画『461個のおべんとう』のノベライズ版。



#### 【 浅田家! 】 中野 量太 // 著

消防士、レーザー、ヒーロー、バンドマン…。家族全員を巻き込んで、それぞれが“やってみたかったこと”をテーマにコスプレした姿を撮影した家族写真で写真界の芥川賞・木村伊兵衛写真賞を受賞した写真家・浅田政志だが…。「家族」を撮り続けた写真家と、彼を支え続けた「家族」の笑い涙あふれる感動実話。二宮和也主演の映画『浅田家!』の原作本。



#### 【 おとなになるのび太たちへ 】 藤子・F・不二雄 // まんが

子どもたちが憧れる職業について10人のおとなが、てんとう虫コミックス『ドラえもん』から、選りすぐりの1話をレコメンド。夢をかなえるために、人生で必要なことを教えてくれる。

猪子寿之 / アート集団チームラボ代表 「アスレチック・ハウス」

梅原大吾 / eスポーツプレイヤー 「あやとり世界」

梶 裕貴 / 声優 「さようなら、ドラえもん」 など。



#### 【 東京すみっこごはん レシピノートは永遠に 】 成田 名璃子 // 著

高校三年の春、楓は悩み続けていた。あの時、一人の少年の希望を守れなかったことを…。失意に暮れ、卒業後の進路も定まらぬ中、ずっと二人で暮らしてきたおじいちゃんの身に異変が!? そして、すみっこごはんの常連たちにも決意の時が近付く。年齢も職業も異なる人々が集う“共同台所”が舞台の大人気シリーズ。それぞれの旅立ちがやさしく胸を打つ最終巻!